

高付加価値商品を開発するとともに、分散型工程、業務標準化で生産性を向上

1951年創業、1959年に会社設立の上水道用水栓を中心としたバルブの専門企業。水栓金具、水回り製品、その関連部材の開発設計・製造・販売を行う。既存の「蛇口製品」以外にも、新製品開発や、販路拡大に積極的に注力。地元には多くの取引先を有し、全国に1,000以上の得意先を持つ安定した事業基盤を確立。また、全国約4割の水栓バルブ製品出荷額のシェアがある岐阜県山県市の中で、同社は水栓バルブ組合「美山金属工業会(MK会)」会長を務め、中核的な存在。

- | | | | |
|---------|---|-------|---------|
| ●所在地 | 岐阜県山県市富永194 | ●設立 | 1951年 |
| ●電話/FAX | 0581-52-2131/0581-52-2622 | ●資本金 | 3,000万円 |
| ●URL | http://www.mizutani-v.co.jp/ | ●従業員数 | 53人 |
| ●代表者 | 代表取締役社長 水谷 真也 | | |



単なる水栓金具に留まらず付加価値の高い製品を開発

同社は水栓バルブ製品の鋳造・加工・研磨・メッキ・組立検査等を一貫して行う設備、生産ノウハウがあり、アイデアをスピーディ、高品質に製品化している。洗浄機能を高めたファインバブルを吐水して3割の節水を行うシャワーヘッド、EV充電設備と水道蛇口をコラボしたコンセント付き水栓柱、各種センサーを用いた高齢者見守りシステム等、新製品を開発し、単なる水栓金具に留まらず、付加価値の高い製品を製造。今後は、これらの技術を活用してヘルスケア等、新規分野への進出も視野に入れる。



ミズタニバルブ工業の高付加価値商品

トヨタ生産方式を導入し毎日改善活動を積み重ね効率よく生産

コンサルタントのアドバイスを受けながらトヨタ生産方式を導入し、効率よく生産している(MPS:Mizutani Production System)。大きな表に付箋を貼って在庫状況を表したり、在庫の保管も目に付く場所に積み上げたりと敢えてアナログ的な取組みで、視覚的に分かりやすくし衆知を集めている。また、一部の生産機械の稼働データを随時スマホで容易に確認できるようにし、今後、他の機械への展開も目指す。更に、岐阜大学とIoTを活用した生産性向上を図る機器を共同研究、産学官連携にも取り組む。



アナログ的な工夫で在庫を見える化

属人的な業務を他の従業員も取組めるように標準化

業務の標準化のため、今まで実行していなかった工具や資料等の定位置管理の取組みを実行。これにより、従来は属人的だった業務が他の従業員にもできるようになった。この結果、1名を組立検査工程から配置換えして段取り替えや部品を運ぶ専門の担当を設けたところ、実際の作業人員は1名減ったにも関わらず、3割生産性が向上。また、以前は従業員が不良品を出すと人目に付かずに処分したが、工場で一番目立つところに不良品を集める場所を設置して意識付けを行った結果、不良品が半減した。



不良品を見える化した結果、発生率は半減